



## DATA

■お問い合わせ先  
JA秋田しんせい  
金融部 金融課  
TEL.0184-27-1665  
http://www.akita-shinsei.or.jp

■がんばれ鳥海山ろく線定期は季節ごとにポスターを製作。鳥海山ろく線の美しい写真で、そのすばらしさも伝えている。



## JA秋田しんせい 金融部の取り組み ～地域へ貢献～

金融商品で地域貢献に結びついているユニークなものがあると聞きました。是非教えてください！



ナビゲーター  
JA秋田しんせい  
金融部 金融課  
課長補佐  
加藤 博文さん



第2弾として、地元応援型定期貯金「がんばれ鳥海山ろく線定期」を今年4月にスタートしました。由利高原鉄道鳥海山ろく線は内陸線同様とても厳しい状況ですが、沿線に住む方々が「由利高原鉄道アシストクラブ」を設立し運営を支援しています。このクラブを通じ、駅舎の清掃や構内の環境美化に取り組んでいる各駅の愛好会へ寄付をすることにしました。

他にはどんな商品がありますか。  
第2弾として、地元応援型定期貯金「がんばれ鳥海山ろく線定期」を今年4月にスタートしました。由利高原鉄道鳥海山ろく線は内陸線同様とても厳しい状況ですが、沿線に住む方々が「由利高原鉄道アシストクラブ」を設立し運営を支援しています。このクラブを通じ、駅舎の清掃や構内の環境美化に取り組んでいる各駅の愛好会へ寄付をすることにしました。

どんな商品ですか。  
また、きつかけを教えてください。  
最初は金融部で何か特色のある商品を考えてみようということになり、その時の柱となったキーワードが「地域貢献」でした。地元へ貢献(寄付)できることが付加価値となり、お客様にPRできると考えました。  
その第1弾が地域貢献型定期貯金「TDKサッカー部クラブ化応援定期」です。これはTDKサッカー部のクラブ化を地元として応援して行こう!という貯金です。普通の定期貯金に金利を上乗せしたもので、預入期間は3年と5年。多くのご賛同をいただき、昨年5月から今年3月までに約44億円の取り扱いはありました。そのうちの0.01%(44万円)を「ブラウブリッツ秋田」を運営する秋田フットボールクラブ(株)に、チームの躍進を願い、寄付させていただきました。寄付金はJAが負担し、お客様の負担にならないようなシステムにしました。「地域貢献」とはすばらしい!とお声もいただき、次も何かやるぞ、ということになりました。

●地域のことを思い、企画して、形にする金融部の皆さんの活動に感動しました。ありがとうございました！

今、認知症サポーターの取り組みにも力を入れています。お客様と接する仕事をしていると、認知症の問題を切実に感じます。特に金融窓口は大切な財産を扱いますから、私たち金融部はこの活動を県内で最初にスタートさせました。認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の方やご家族を温かく見守る応援者のこと。養成講座を受講し、認定を受けた職員は「オレンジリング」を腕に巻いて業務に当たります。22年度内に全職員の登録を目指しています。  
今後、様々な角度から多くの企画を提案し、地域に対する金融部の思いを形にしていきたいですね。

第1弾はにかほ市でしたので、第2弾は由利本荘市への地域貢献を目指しました。  
2市にまたがる広域JAなので、企画もバランスが大事ですね。  
そうですね。ご紹介した企画の他に、今年6月、鳥海山ろく線とJAが指定金融機関を務める由利本荘市へ「ちよきんぎょ」がデザインされた傘を250本、にかほ市にも30本寄付しました。管内に住む皆さんに利用していただけたらうれしいですね。自治体や地域の方々と繋がっていくことも大切なことだと思っています。  
最後に今後の活動の意気込みを教えてください。  
最後に今後の活動の意気込みを教えてください。



1「地域貢献」を重要視する金融部金融課の職員。アイデアは全員が出し合い、形にしていく。2認知症サポーターがいることを周知するポスター。3JAまつりにブラウブリッツ秋田の選手が参加するなど交流も盛んに。4JA/バンクのキャラクター「ちよきんぎょ」のシールを貼って傘にワインポイント。5「TDKサッカー部クラブ化応援定期」の寄付金を進呈。

